

学年代表用

教員の勤務環境と支援スタッフに関する実態調査へのご協力のお願い

2017年1月

教員の勤務環境と支援スタッフに関する調査研究会

研究代表 明星大学教授 樋口 修資

時下、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、すでにご承知のように、わが国では教員の多忙化が大きな社会問題となっています。多忙化を改善するために様々な調査や取組が行われていますが、最近実施した連合総研調査の結果をみましても、改善の兆しすらみられないのが現状です。一方で、ますます多様化・複雑化する教育課題に対応するために、チーム学校づくりが喫緊の課題となりました。学校には教員以外の様々な支援スタッフが、これから増えることが予想されます。ところが、支援スタッフの実態を把握するための調査は、これまでほとんど行われてきませんでした。

こうした現状を踏まえて私たち研究会は、今年度から「多忙化縮減をめざす学校と支援スタッフの連携協力の在り方に関する調査研究」に着手しました。この研究は教員と支援スタッフの協働関係を多忙化縮減という観点から明らかにすることが目的です。調査結果の集計、分析を通して、教員と学校支援スタッフの方々にとってより良い学校組織の在り方を明らかにしたいと考えております。

この調査票は、各学年それぞれについて、学年主任など、その学年を代表する先生がお答えください。

調査回答にかかる所要時間は、15分程度です。

本調査票は専門の調査機関で開封し、一括して集計し数的に処理を致しますので、個人が特定されたり、回答が外部に漏れたりすることはありません。

なお、本調査の結果の速報値は来年7月頃、また調査結果に基づく詳細な分析を加えた最終の「報告書」は、2018年度末までにまとめ、各教職員組合へご報告させていただくことを予定しております。

ご多忙の折、誠に恐れ入りますが、趣旨をご理解いただきまして、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【記入上の注意】

○記入の済んだ調査票は、封筒に入れて（無記名で結構です）、遅くとも1月31日（火）までに貴校の担当者に提出してください。なお、調査票がお手元に届き次第、できるだけ早くご回答いただけますと幸いです。

【本調査に関するお問い合わせ先】

横浜市立大学国際総合科学部

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸2-2-2

担当：坪谷 美歌子

TEL：045-787-2364 FAX：045-787-2364

Email: tsuboya@yokohama-cu.ac.jp

- 本調査票はコンピューターによるOCR読み取り処理を行いますので、下記の注意事項を確認の上ご記入ください。
- ①黒のHBの鉛筆もしくはシャープペンシルを使用し、標準字体で濃く書いてください。
※HB以外の柔らかい鉛筆・油性ペン・フェルトペンでは、データとして読み取ることができません。
 - ②書き間違えた場合は、消しゴムで消した後、はっきりと書き直してください。
万が一、ボールペンで記載された場合は、修正液や修正テープできれいに消してから書き直してください。
回答枠外に記載された文字等は、読み取りできませんので、必ず枠内にご記入ください。
 - ③付箋紙や消しゴムのカスがあると読み取りエラーが発生しますので、取り除いてください。
 - ④調査票に汚れ（濡れや破れや極端なシワ）などがあると、文字認識ができないため、取り扱いに注意してください。
 - ⑤本票以外では読み取ることができないため、調査票は、必ず原本をご返送ください。

■あなたご自身のことについてうかがいます。

問0 あなたはどの学年の学年主任、または学年代表として回答していますか。

あてはまる番号に○をつけてください。

1. 小1 2. 小2 3. 小3 4. 小4 5. 小5 6. 小6
7. 中1 8. 中2 9. 中3

問1 あなたの性別と年齢を教えてください。

A. 性別 1. 男性 2. 女性

B. 年齢 歳

問2 あなたにはお子さまがいますか。お子さまがいる場合、一番年下の方の年齢は何歳ですか。

あてはまる番号に○をつけてください。

1. 0～3歳 2. 4～6歳 3. 7～12歳
4. 13～18歳 5. 19歳以上 6. 子供はいない

問3 あなたは、現在ご家族の介護をしていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 自宅で介護をしている 2. 自宅外で介護をしている 3. 介護をしていない

■普段の勤務の実態などについてうかがいます。

問4 あなたの1週間あたりの担当授業時数（教科・道徳・学級活動・総合・外国語活動）は

何時間ですか。小学校では45分、中学校では50分を1時間としてお答えください。

授業を担当していない場合は0と記入してください。

1週間あたり 時間

問 11 あなたは、1か月あたり何日くらい休日出勤をしていますか。
休日出勤をしていない場合は0と記入してください。

1か月あたり

--	--

 日くらい

問 12 あなたは以下の業務に負担を感じるものがどれくらいありますか。
 あてはまる番号に○をつけてください。

	よく ある	ときどき ある	あまり ない	ほとんど ない	その業務は 担当して いない
A. 教材研究・授業準備……………	1	2	3	4	8
B. 宿題などの提出物や成績の処理…	1	2	3	4	8
C. 課外授業・補習指導……………	1	2	3	4	8
D. 生活・生徒指導……………	1	2	3	4	8
E. クラブ活動・部活動指導……………	1	2	3	4	8
F. 学年・学級経営……………	1	2	3	4	8
G. 学校行事……………	1	2	3	4	8
H. 調査への対応・報告書の作成……	1	2	3	4	8
I. 保護者・P T A対応……………	1	2	3	4	8
J. 渉外・地域対応……………	1	2	3	4	8
K. 学校徴収金の管理……………	1	2	3	4	8
L. 物品などの会計事務……………	1	2	3	4	8
M. 会議・打合せ……………	1	2	3	4	8
N. 校内研修・研究会……………	1	2	3	4	8
O. 校外研修・研究会……………	1	2	3	4	8

問 13 あなたは以下の教員としての仕事や待遇に、どれくらい満足していますか。
 あてはまる番号に○をつけてください。

	とても 満足している	まあ 満足している	あまり 満足していない	まったく 満足していない
A. 仕事全体……………	1	2	3	4
B. 給与……………	1	2	3	4
C. 雇用の安定性……………	1	2	3	4
D. 勤務時間・休日などの勤務条件……	1	2	3	4
E. 管理職からの評価……………	1	2	3	4

問 14 あなたには、以下のことがどれくらいあてはまりますか。
あてはまる番号に○をつけてください。

とても
あてはまる まあ
あてはまる あまり
あてはまらない まったく
あてはまらない

- A. 教員の仕事にやりがいを感じる…………… 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4
- B. 職場の人間関係が良好である…………… 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4
- C. 学習指導の面で苦勞することが多い…………… 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4
- D. 生活・生徒指導の面で苦勞することが多い… 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4
- E. 仕事の負担感から解放されない…………… 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4

問 15 教員の勤務負担軽減を図る上で、学校が優先して取り組むべきことは何だと思いませんか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 校内会議の精選・会議時間の短縮 2. 支援スタッフの活用
3. 休日出勤の振替日の完全取得 4. ノー残業デーの設定
5. ノー部活動デーの設定 6. 学校行事の精選
7. 事務・経理業務の分担の明確化
8. その他

具体的に	
------	--
9. 何も行う必要はない

問 16 教員の勤務負担軽減を図る上で、国・都道府県・市町村が優先して取り組むべきことは何だと思いませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 教員の増員 2. 授業時数の削減
3. 事務職員の増員 4. ICTなどによる校務支援システムの整備
5. 支援スタッフの増員 6. 調査や照会の精選
7. 研修・研究会の精選 8. 研究指定の精選
9. 学級規模の縮小 10. 部活動の活動日・時間の制限
11. 教員が担う業務の明確化 12. 長期休業中の学校閉庁期間の設定
13. その他

具体的に	
------	--
14. 何も行う必要はない

■支援スタッフとの連絡・調整などについてうかがいます。

問 17 あなたは、以下の支援スタッフ（類似の役割を担っている支援スタッフを含む）と連絡・調整をどれくらいしていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

	十分に している	まあ している	あまり していない	まったく していない	勤務して いない
A. スクールカウンセラー……………	1	2	3	4	8
B. スクールソーシャルワーカー……………	1	2	3	4	8
C. ICT支援員（※）……………	1	2	3	4	8
D. 学校司書……………	1	2	3	4	8
E. 外国語指導助手……………	1	2	3	4	8
F. 理科実験などの支援員……………	1	2	3	4	8
G. 外国人児童生徒への日本語指導員……………	1	2	3	4	8
H. 学習支援員（E～Gを除く）……………	1	2	3	4	8
I. 部活動指導員……………	1	2	3	4	8

※ ICT支援員とは、ホームページ管理、デジタル教材・機器の管理などを行うスタッフです。

問 18 以下の支援スタッフ（類似の役割を担っている支援スタッフを含む）は、あなたの勤務負担軽減に役立っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

	とても 役立って いる	まあ 役立って いる	あまり 役立って いない	まったく 役立って いない	勤務して いない
A. スクールカウンセラー……………	1	2	3	4	8
B. スクールソーシャルワーカー……………	1	2	3	4	8
C. ICT支援員……………	1	2	3	4	8
D. 学校司書……………	1	2	3	4	8
E. 外国語指導助手……………	1	2	3	4	8
F. 理科実験などの支援員……………	1	2	3	4	8
G. 外国人児童生徒への日本語指導員……………	1	2	3	4	8
H. 学習支援員（E～Gを除く）……………	1	2	3	4	8
I. 部活動指導員……………	1	2	3	4	8

■担当学年の状況についてうかがいます。

問 19 あなたは学級担任をしていますか。あてはまる番号に○をつけた後に、学級担任をしている場合は、その学級の児童生徒数を記入してください。

1. している →

--	--

 人
2. していない

問 20 あなたが学年主任または学年代表をしている学年の児童生徒数は何人ですか。また、その学年の通常学級の学級数はいくつですか。

A. 学年の児童生徒数……………

--	--	--

 人

B. 学年の通常学級の学級数……………

--	--

 学級

問 21 あなたが学年主任または学年代表をしている学年には、以下のような児童生徒はどれくらいいますか。正確な人数が分からない場合は、およその人数で構いません。

該当する児童生徒がない場合は0と記入してください。

A. 特別支援学級に在籍する児童生徒……………

--	--	--

 人くらい

B. 日本語指導が必要な児童生徒……………

--	--	--

 人くらい

C. 就学援助・生活保護を受けている世帯の児童生徒……………

--	--	--

 人くらい

D. 年間30日以上欠席している児童生徒……………

--	--	--

 人くらい

E. 通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒……………

--	--	--

 人くらい

F. Eの中で通級または取り出し指導を行っている児童生徒……………

--	--	--

 人くらい

■自由記述欄

--

教員の勤務環境や支援スタッフの活用の課題について、ご意見などをご自由にご記入ください。

これで調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。